

令和2年12月1日

学生・教職員 各位

学 長

**【重要】対面授業の再開に向けて**

本学では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための早期対応として、緊急対策本部を設置し、学生対応フローチャートや指針等を定め、オンライン授業や新しい生活様式の指導、サークル活動における注意喚起、教職員のテレワーク導入、分散勤務等、様々な感染防止対策を講じてきました。

ところが、残念ながら、11月18日に、本学サークルによる新型コロナウイルスの集団感染、いわゆるクラスターが発生しました。

本学は、クラスターの発生後も、鹿児島市保健所等関係機関との緊密な連携の下に、一刻も早い感染拡大防止に全力で取り組んできました。

そこで、12月4日（金）から、郡元キャンパス及び下荒田キャンパスにおいて、対面授業を再開することとなりました。

学生も教職員も、感染症対策の注意を少しでも怠ると、新型コロナウイルスに感染する危険性があり、感染は誰にでも起こり得ることであるという認識を強く持つことが必要です。症状が無くても、自分自身がウイルスに感染しているかもしれない、という意識の下で、日頃の行動には一層の注意を払うことが求められます。

一方、新型コロナウイルスに感染したからといって、感染した方たちを誹謗中傷することは決して許されることではありません。学生及び教職員の皆様は、寛容性を持って、冷静に対応するようお願いいたします。

また、風評被害といったことも考えられますが、もし不安に思われるようなこと等がありましたら、一人で悩まず、遠慮なく大学に相談してください。

また、日常生活においては、感染リスクが高まる「5つの場面」（①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間に及ぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わり）を踏まえ、学生及び教職員に対し集団行動（特に飲み会、カラオケなど）については自粛を強く求め、手洗いや手指の消毒、マスクの着用のみならず、「三つの密（密集、密接、密閉）」を避けるなど、一人一人の行動が、感染拡大の防止の鍵を握っていることを再度、自覚していただき、皆さんやその周りにおられる方々の命と健康を守るべく慎重な行動を取るよう引き続きお願いいたします。